

令和3年度版 いるましの環境

第三次入間市環境基本計画環境報告書 ～人と環境が共生するまちをめざして～



— 入間市 —

※この冊子は令和2年度における本市の環境の現状と、「第三次入間市環境基本計画」に基づいた指標の評価を年次報告書としてまとめたものです。市民・事業者・民間団体等の方々に、入間市の環境の現状と、本市の施策に対するご理解とご協力を深めていただくための一助となれば幸いです。

はじめに

私たちのまち入間は、加治丘陵や入間川、広大な茶畑などの豊かな自然に恵まれたまちです。

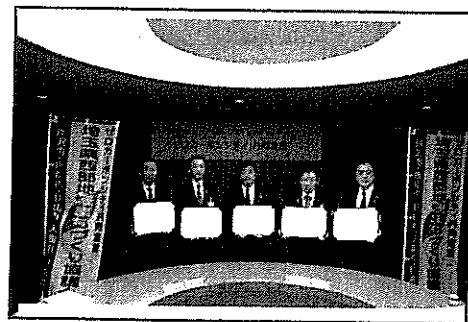
私たちは、この恵まれた環境の恩恵を享受する権利を有するとともに、その環境を将来の世代に引き継ぐ責務を有しています。そのためには市、市民及び事業者が共通の認識に立って、共に力を合わせて環境の保全及び創造を推進し、人と環境が共生するまちづくりに取り組まなければなりません。このような背景を踏まえ、平成10年9月に環境の保全及び創造に関する取り組みの基本となる入間市環境基本条例を制定しました。

また、平成11年3月に、地球温暖化防止の取り組みを推進するため、「エコいるま行動計画」を策定し、環境にやさしい職場づくりの取り組みを始めました。

さらに、平成12年3月には入間市環境基本条例に基づき「入間市環境基本計画（第一次計画）」を策定し取り組みました。平成22年度から令和元年度までは「第二次入間市環境基本計画」に取り組み、それぞれ一定の成果を上げることができました。令和2年度からは「第三次入間市環境基本計画」に取り組んでいます。

また、「エコいるま行動計画」については平成19年3月に「入間市地球温暖化対策実行計画」として改訂しました。平成17年度の温室効果ガスの排出量を基準に、平成23年度まで5%削減することを目標とし、目標以上の成果をあげました。平成30年3月に策定した「第四次入間市地球温暖化対策実行計画〈事務事業編〉」では、令和4年度までに累計で9,990[t-CO₂]以上の温室効果ガスの削減を目指し取り組んでいます。

令和3年2月に埼玉県西部地域まちづくり協議会（構成市：所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）において、2050年二酸化炭素排出量ゼロを目指すこと（ゼロカーボンシティ宣言の表明）を共同で宣言しました。



ゼロカーボンシティ宣言の表明

目 次

第1章 総説

1-1 第三次入間市環境基本計画の概要	5
1-2 第四次入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要	8
1-3 環境マネジメントシステムの概要	10
1-4 推進体制	11
1-5 いるましの環境	11

第2章 第三次入間市環境基本計画の進捗状況

2-1 基本方針1	13
2-2 基本方針2	27
2-3 基本方針3	41
2-4 基本方針4	50
2-5 基本方針5	55
2-6 第三次入間市環境基本計画の総合結果・評価	66

第3章 第四次入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況

3-1 目標	68
3-2 結果・解説	68
3-3 温室効果ガスの削減方針	72

第4章 環境マネジメントシステムの進捗状況

4-1 環境マネジメントシステムの目標（PLAN）	74
4-2 取組（DO）	74
4-3 内部環境監査(CHECK&ACTION)	75

第5章 資料

5-1 入間市環境基本条例	77
5-2 用語解説	80

第1章 総 説

- 1-1 第三次入間市環境基本計画の概要
- 1-2 第四次入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要
- 1-3 環境マネジメントシステムの概要
- 1-4 推進体制
- 1-5 いるましの環境

第1章 総 説

1-1 第三次入間市環境基本計画の概要

平成22年に策定した第二次入間市環境基本計画の計画期間が満了したことから、令和2年度から令和11年度までを計画期間とした「第三次入間市環境基本計画」を策定しました。

(1) 計画の目的

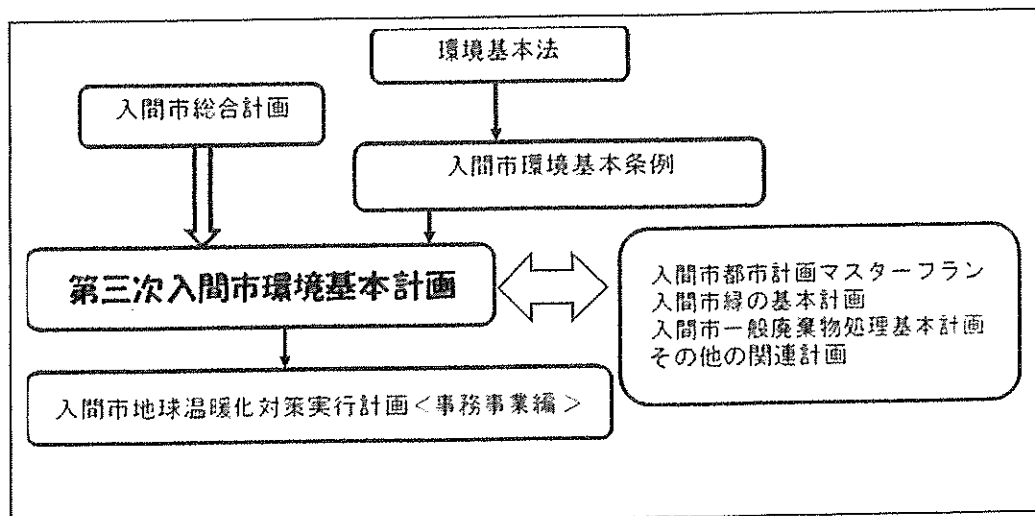
第三次計画は、本市の良好な環境を保全・創造し、次の世代も含めた市民が快適に暮らすことができるような各種施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とします。市民、事業者、民間団体及び市が、知恵と力を出し合い、将来の望ましい環境像を実現することを目指します。

(2) 計画の期間

第三次計画の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間です。

(3) 計画の位置付け

入間市環境基本条例第8条により環境基本計画を策定することを定めています。また、「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」を目標とした第6次入間市総合計画と整合を図り、環境の保全・創造の基本的な方向を示す計画として位置付けます。



(4) 計画の見直し

第三次計画は、策定後5年を目途として、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、法律の改正などに応じて見直しを行います。また、見直しにあたっては、入間市環境基本条例第8条第5項に基づき、市民、事業者、民間団体の意見を反映するための措置を講じ、入間市環境審議会の意見を聴くものとします。

(5) 計画の構成

第1章 計画の基本的事項

計画策定の背景、第二次計画の評価、第三次計画の基本的事項を示します。

また、望ましい環境像の実現に向けた基本方針を明らかにします。

第2章 施策の具体的内容と進行管理指標

基本方針にもとづいた具体的な取り組み内容を示します。

第3章 計画の推進

計画の推進体制や進行管理について示します。

(6) 望ましい環境像

本市が目指す望ましい環境像は、第二次計画の考え方を引き継ぐとともに、社会情勢の変化、第6次入間市総合計画の趣旨および第二次計画の課題を踏まえたうえで、人と環境が共生するまちを目指して、次のとおりとします。

一人ひとりが、身近な生活レベルから地球環境の保全に貢献できるまち

他の生物と共に生き、次世代からの預かりものとして豊かな自然を守り
引き継ぐことのできるまち

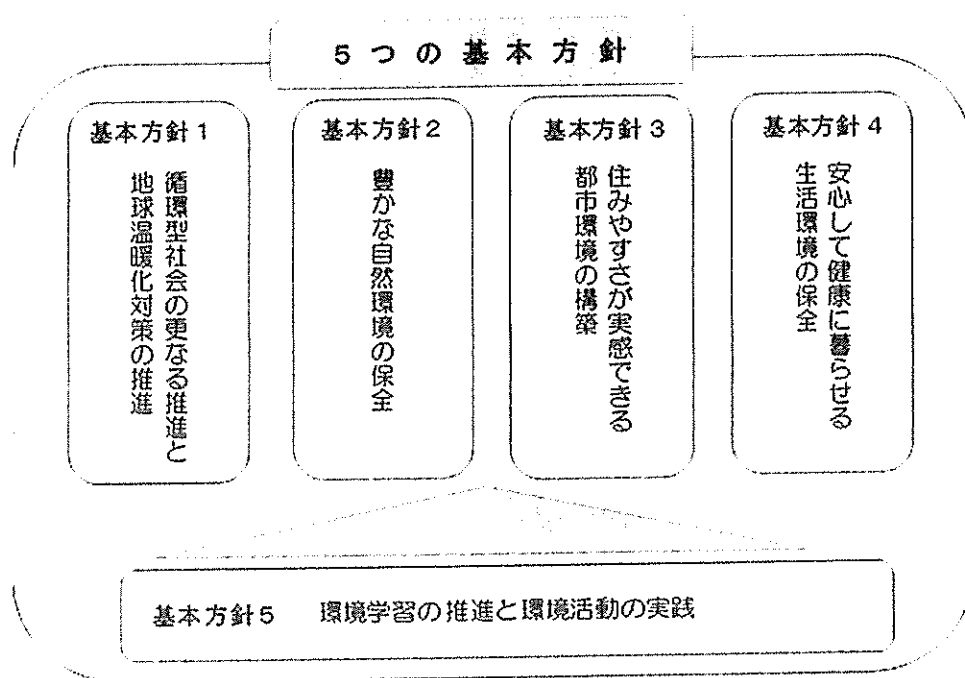
産業や歴史・文化が大切にされ、時間と空間にゆとりのある誰もが
住み良さを感じられるまち

すべての人がお互いのつながりを大切にして、環境の保全及び創造に
主体的に取り組むことができるまち

(7) 基本方針

望ましい環境像の実現に向け、5つの基本方針を設定します。基本方針は国際的な潮流や社会情勢の変化に対応し、今後の本市の環境活動の根幹となる方針です。

この基本方針は、【循環型社会・地球温暖化】、【自然環境】、【都市環境】、【生活環境】の各分野に加え、基本方針の達成のための手段となる【環境学習】を設定しています。



基本方針1 「循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進」

基本方針2 「豊かな自然環境の保全」

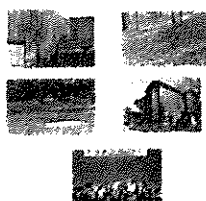
基本方針3 「住みやすさが実感できる都市環境の構築」

基本方針4 「安心して健康に暮らせる生活環境の保全」

基本方針5 「環境学習の推進と環境活動の実践」

第三次入間市環境基本計画

・と環境が共生するまちをめざして・
 (令和2年度～11年度)



入間市環境基本計画
 11年度

1-2 第四次入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されており、最も重要な環境問題の一つとされています。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面の上昇が観測されています。日本においても、年平均気温は様々な変動を繰り返しながら上昇しており、台風等による被害、農作物や生態系への影響が観測されています。

地方公共団体は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）」の規定により、事務及び事業から発生する温室効果ガスの排出等のための措置に関する計画（実行計画）を策定することが義務付けられています。入間市では、それまで全庁で取り組んできた「エコいるま行動計画」（平成11年3月策定）の取組を継承し、同計画に不足している温室効果ガスの排出量の把握などの要素を加えて平成19年3月に「入間市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

その後、第二次計画、第三次計画を策定し、平成30年3月末で第三次計画期間が満了したことから、新たに平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする「第四次入間市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

平成10年10月9日に公布された「地球温暖化対策の推進に関する法律」は地球温暖化対策の推進に関する国、地方公共団体、事業者及び国民のそれぞれの責務を明らかにするとともに、各主体の取り組みを促進するための法的枠組みとして、平成11年4月8日より全面施行されました。

「地球温暖化対策の推進に関する法律」は、国、都道府県及び市町村に対して、それぞれの事務及び事業に関する温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための実行計画を策定・公表するとともに、その実施状況を公表するよう求めています。

市では、事務事業に伴って発生する温室効果ガスの排出量を効果的に削減していくため、国の基本方針に従い、6つの分野の取り組みを推進しています。

- （1）省エネルギー
- （2）省資源
- （3）廃棄物の減量及びリサイクル
- （4）グリーン購入
- （5）施設管理
- （6）入間市発注の公共工事、業務委託等に関する配慮

運用については、環境マネジメントシステムをツールとして、具体的な取り組み事項を進めていきます。推進・点検等の進行管理については、温室効果ガス排出量の取りまとめを EMS 事務局で行い「いるましの環境」で公表します。

また、計画を全庁的に推進していくためには、職員一人一人が、事務事業における環境への負荷を自覚し、環境に配慮した行動を展開していくことが不可欠であることから、職員研修や職場研修、情報提供を行います。

第 24 次入間市地球温暖化対策実行計画

第 4 次改定版



入間市

環境部

1-3 環境マネジメントシステムの概要

入間市の環境マネジメントシステムは、平成15年12月にISO14001を外部機関の審査によって認証・登録を行いました。平成20年4月からは、埼玉県西部地域まちづくり協議会（構成市：所沢市、飯能市、狭山市、入間市）において4市合同で国際規格に適合していることを自己責任、自己決定する、「自己宣言」に移行し、引き続き環境負荷の削減に努めていくことになりました。

しかし、ISO14001の改訂や社会情勢などを鑑み、同協議会はダイア4市合同自己宣言について、平成27年3月31日に取り下げを行い、平成28年4月からは、独自の環境マネジメントシステムを構築し運用しています。

平成28年度から運用を開始した環境マネジメントシステム（EMS：Environmental Management System）では、本庁舎の各課と庁外施設を対象とし、省エネルギー、省資源、グリーン購入等の取組内容について各課の目標を設定し運用しています。PDCAサイクル（計画：Plan、実施：Do、点検：Check、見直し：Act）を繰り返すことによって、計画の実行結果と当初の計画との比較から、必要な措置を行います。そして、環境影響の改善を継続的に進めることで、施策の実現を図っています。

また、EMS推進会議における総合調整、入間市環境審議会による総合的な点検、及び年次報告書の作成・公表などの取り組みを進めます。

1-4 推進体制

入間市環境審議会は、市民や事業者、知識経験者などの参加のもと、環境の現況や環境の保全及び創造に関する各種施策の進捗状況などを点検、評価し、市民意見などを踏まえて、必要に応じてより効果的な施策を検討し提言する役割を担います。

また、市が環境の保全及び創造に向けた具体的な施策を推進していくためには、庁内の横断的かつ総合的な調整や連携が必要不可欠となります。E M S 推進会議は、環境の現況、市民や入間市環境審議会からの意見・提案を踏まえ、環境の保全及び創造に関する施策の推進や計画（地球温暖化対策実行計画も含む）の進行管理について、総合的な調整や点検を行うとともに、各担当課の取り組みを推進していく役割を担います。

入間市環境まちづくり会議は、市民、事業者、民間団体及び市がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ、協働して環境保全活動を行い、「望ましい環境像」を実現していくための推進組織として、平成13年7月に設立されました。そして、第三次環境基本計画を効果的に推進するため、すべての主体の参加のもと、全市的な組織として、施策を自主的かつ積極的に推進していく役割を担います。

1-5 いるましの環境

「いるましの環境」は、環境行政の総合的かつ計画的な施策展開を図るため、年度ごとに環境の現状と主な施策の実施状況について実績を取りまとめ、市民に公表していきます。同時に、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」、「環境マネジメントシステム」の進捗状況も報告するものです。

本書は、「第三次環境基本計画」、「第四次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」、「環境マネジメントシステム」の分野における令和2年度の実施状況の実績を評価したものです。

第2章 第三次入間市環境基本計画の進捗状況

2-1 基本方針1

2-2 基本方針2

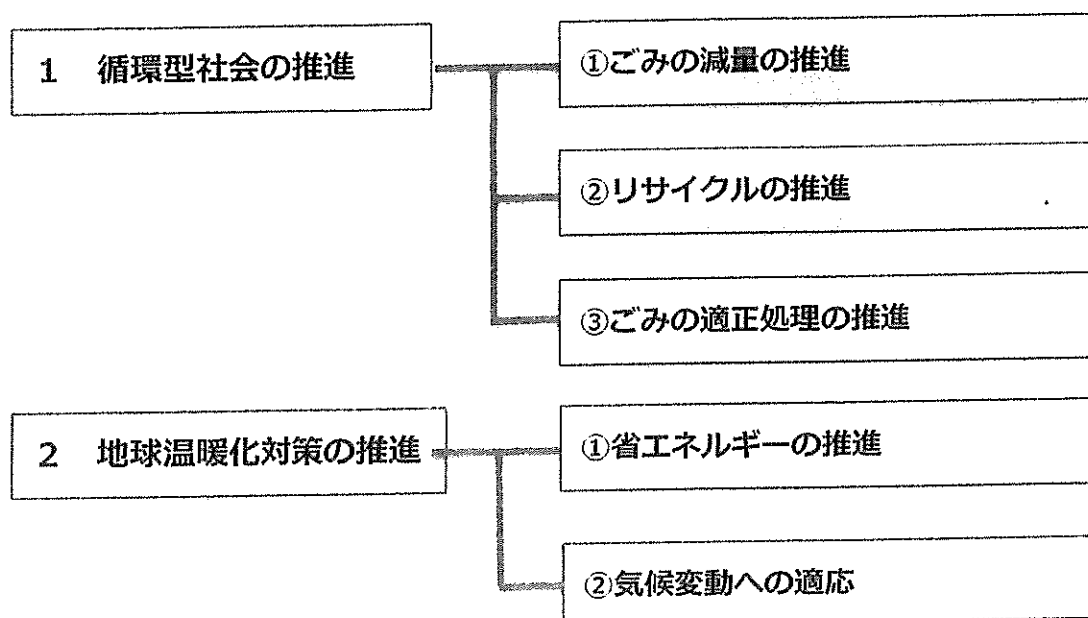
2-3 基本方針3

2-4 基本方針4

2-5 基本方針5

2-6 第三次入間市環境基本計画の総合結果・評価

2-1 基本方針 1 循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進



基本施策 1 循環型社会の推進

1. 令和 2 年度の取組状況と令和 3 年度以降の予定

①ごみの減量の推進

- ・家庭ごみ排出量削減対策として、買い物におけるマイバッグの利用やごみを出さない家庭スタイルを推進します。

10月中の3R 推進月間の時に「ごみ減量・マイバック推進キャンペーン」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

令和3年度は、マイバック持参の人に啓発品（チラシ、固形石けん、ポケットティッシュ）を館内で配布予定で、令和4年度以降は、10月中の3R 推進月間の時に「ごみ減量・マイバック推進キャンペーン」を予定しています。

- ・県と連携し事業系ごみ削減キャンペーンを実施しました。また、搬入時の内容物検査を強化します。

毎年、事業ごみの3R と適正処理を促すため、県が市町村と共同で10月に「事業系ごみ削減キャンペーン」を行い、キャンペーン期間中に許可業者等の内容物を確認する搬入検査を行っています。内容物に問題がある場合は指導を行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年11月18日に検査を実

施しました。

令和3年度以降は、10月に県と市町村が共同で行う「事業系ごみ削減キャンペーン」の期間中に搬入検査を実施する予定です。

- ・リサイクルプラザを拠点として、市民ボランティアを中心にミニフリーマーケット、再生品の制作・販売、体験事業などを実施します。

毎月（4月を除く）、第2日曜日に開催している「リサイクルの日」及び11月第2日曜日に開催する「あおぞらフリーマーケット」は「住みやすく緑豊かなまちづくり」をすすめるため、家庭で不要となった品物を市民相互で交換するフリーマーケットを開催し、市民のリユースやごみ減量に関する意識の高揚を図り、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の重要性を広くアピールするため実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全て中止となりました。

令和3年度は、毎年11月に開催している「あおぞらフリーマーケット」は中止となりましたが、令和4年度以降は、毎月（4月と11月を除く）、第2日曜日に開催している「リサイクルの日」及び11月に開催する「あおぞらフリーマーケット」を行う予定です。

- ・生ごみ処理機器の購入者に対して購入費の一部を補助することで、生ごみの減量及び資源化を図ります。

家庭から出る生ごみの減量・資源化を推進するため、生ごみ処理機を購入し、日常生活の中で排出される生ごみの減量及び資源化に自主的に取り組む方に対して購入費の一部を補助金として負担しました。令和2年度は36基補助しました。

令和3年度以降は、引き続き、生ごみの減量・資源化の推進のため、生ごみ処理機を購入する方に対して購入費の一部を補助金として負担する予定です。

- ・食品ロスや食品廃棄物を減らす取り組みとして「彩の国エコぐるめ事業」に賛同し、「入間市食品衛生協会」及び「入間市料飲業組合」と共同で市民へ啓発を行います。

彩の国エコぐるめ事業に賛同した店舗が新たに、3店舗追加となり、全部で52店舗となりました。また、フードバンク入間にリサイクルの日に参加いただきフードド

ライブ及び PR を行う予定でしたがコロナの影響によりリサイクルの日が中止となった回が多くあり、令和 2 年度中に 4 回の実施となりました。その他食品ロスに関する記事を市報や情報誌に掲載し啓発を行っています。

令和 3 年度以降は、引き続き、彩の国エコぐるめ事業に賛同いただける店舗の開拓やリサイクルの日のフードライブの開催を行うとともに、市報等への掲載にも努め啓発を行ってまいります。

②リサイクルの推進

- ・ごみ分別アプリを活用し、分別方法や各種イベント情報の配信を行い、ごみの適正な分別、資源化等を促進します。

ごみ分別アプリ（ダウンロード数 令和 3 年 3 月末 12,951 件）を利用し、集積所にごみを出すときの注意事項や、集積所に排出することができないもの、リサイクルプラザ等の体験教室やおもちゃ病院等、イベント等の開催のお知らせ、施設の状況等を市民に対して情報発信をし、適正なごみの分別、ごみ減量や資源化、3R 等の啓発を図りました。

令和 3 年度以降は、ごみ分別アプリに加え、市 SNS を利用することで情報発信力を強化し、更なる市民への適正なごみの分別、ごみ減量や資源化、3R 等の啓発を行う予定です。

- ・排出者の利便性や収集効率等を考慮し、わかりやすいごみの分別方法を研究、検討します。

令和 4 年度にプラスチックごみ一括回収が予定されているため、改訂を令和 4 年度に延期しました。

令和 3 年度以降は、令和 4 年度の制度改正に向けた調査・研究を行う予定です。

- ・必要に応じ分別ガイドを改訂します。

現在のごみチャンネルは平成 27 年度版で改訂を令和 2 年度に予定していましたが、プラスチック製の容器と包装に続き、プラスチック製品（バケツ等）も資源ごみとして一括回収を進める様に国が法整備等を検討しているため、それが決定次第ごみチャ

ンネルの改訂をするので延期となりました。

令和3年度以降は、引き続き、プラスチック類の新しい分別方法が、国より発信され次第ごみチャンネルの改訂をする予定です。

- ・古紙類、古布類（繊維）等の資源化を促進するため、資源回収登録団体に対して奨励補助を行います。

家庭から出されるごみの中で資源として再利用できるもの（古紙や古布類）を回収した資源回収登録団体に対して補助金を交付しました。令和2年度は844件に補助金を交付しました。

令和3年度以降は、引き続き、集団資源回収を行っている資源回収登録団体に対して補助金を交付する予定です。

③ごみの適正処理の推進

- ・最終処分場の埋立量を削減し、延命化を図ります。

最終処分場の延命化を図るため、ごみ減量を推進しました。令和2年度の埋め立て量は2,299t/年でした。

令和3年度以降は、最終処分場の埋立量削減のため、引き続きごみ減量の推進を図る予定です。

- ・環境保全に努め、ごみ焼却施設から発生する排ガスの分析結果を公開します。

定期的な排ガス測定を実施し、結果をホームページで公開しました。

令和3年度以降は、同様の取り組みを継続して実施する予定です。

- ・円滑にごみ処理施設を運転するため、基幹的設備の更新を実施します。

焼却施設、破碎施設の定期修繕、及び基幹的設備の更新として、焼却施設の制御を行う焼却用自動制御データシステムの改修工事を実施しました。

令和3年度以降は、年次的な修繕計画に基づき修繕等を実施することで、ごみ処理施設の維持管理と安定した運転管理の継続に努める予定です。

- ・新たな最終処分場の建設に向けた検討を行い、計画策定に取り組みます。

入間市新最終処分場施設整備基本構想に基づき地元説明会を実施しました。

令和３年度以降は、引き続き入間市新最終処分場施設整備基本構想に基づき計画を進める予定です。

２．評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
1	家庭ごみ排出量 (市民一人当たりの1日の排出量)		656 g/人/日	642 g/人/日	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	675g/人/日				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
2	事業ごみ排出量（年間処理量）		8,705 t/年	8,198 t/年	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	7,925 t/年				
評価	1				
備考					

評価について	☆ 目標達成	！ 目標に向けて進展	○ 現状維持	！ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
3	リサイクルプラザの活用(リサイクルの日開催)		10回/年	10回/年	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	全て中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
4	リサイクルプラザの活用（各種教室への参加）		2,825 人/年	3,000 人/年	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	441 人/年				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
5	生ごみ処理機器の購入費補助による普及拡大		17基/年	40基/年	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	36基/年				
評価	↑				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
6	埼玉県「彩の国エコぐるめ事業」への登録		50 店舗	50 店舗	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	52 店舗				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
7	ごみの資源化		24.3%	30.0%以上	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	23.29%				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
8	わかりやすいゴミ分別の検討		ごみチャンネル改訂 アプリ導入	継続	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	ごみチャンネル改訂は令和4年度に行う				
評価					
備考	令和4年度にプラスチックごみ一括回収が予定されているため、改訂を令和4年度に延期。				

評価について	○ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
9	資源再利用奨励補助の推進（団体数）		198 団体	260 団体	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	189 団体				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
10	資源再利用奨励補助の推進（回収量）		2,235t/年	3,600t/年	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1,583t/年				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
11	最終処分場の年間埋立量の削減状況		2,597t/年	2,600t/年以下	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	2,299t/年				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
12	ごみ処理施設の環境保全情報の公開		ホームページ 2 回/年	継続	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	ホームページ 6 回/年				
評価	○				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
13	ごみ処理施設の長寿命化に伴う改修工事の実施		修繕・改修工事の 実施	継続	総合クリーンセ ンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	修繕・改修工事 の実施				
評価	↑				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
14	次期最終処分場の建設に向けた検討・計画の策定		実施	計画策定	総合クリーンセンター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	実施				
評価	1				
備考					

評価について	☆ 目標達成	○ 目標に向けて進展	△ 現状維持	□ 停滞	× 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本施策 2 地球温暖化対策の推進

1. 令和 2 年度 of 取組状況と令和 3 年度以降の予定

① 省エネルギーの推進

- ・住宅用省エネルギー設備を設置する市民に補助金を交付し、低炭素な生活を目指します。

住宅用省エネルギー設備設置費補助金を 1 1 5 件交付しました。

(うち太陽光発電システム設置助成件数：5 0 件、

太陽熱利用システム設置助成件数：0 件、

定置用リチウムイオン蓄電池助成件数：4 1 件、

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置助成件数：3 件、

HEMS 設置助成件数：2 1 件)

令和 3 年度以降も補助金交付を継続する予定です。

- ・市の施設における二酸化炭素排出量を削減するため、公共施設ではエネルギー使用量の少ない機器を使用するなど、省エネルギー、省資源に配慮したエネルギー効率の高い施設整備に努めます。

低炭素社会実現のための一環として、夏のライフスタイル(COOL BIZ:クールビズ)実施を推進しました。

入間市環境マネジメントシステム(EMS)職員研修にて省エネルギー、省資源について啓発・推進を行いました。

令和 3 年度以降も省エネルギー・省資源の取組を継続していく予定です。

② 気候変動への適応

- ・気候変動に伴う異常気象により懸念される浸水、土砂崩れ、河川の氾濫などの災害発生に備え、土砂災害に対する警戒避難マップを充実します。

危機管理課窓口及び市政情報コーナーに土砂災害ハザードマップを設置し、配布を行いました。

令和 3 年度以降は、防災ガイドブックの更新に伴い、土砂災害ハザードマップの情報を改訂した上で、防災ガイドブックに一元化する予定です。

- ・市内全域を対象に防災訓練を実施します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和２年度入間市防災訓練の開催を中止しました。代替の防災啓発手段として、防災特別番組を入間ケーブルテレビにて放送しました。

令和３年度入間市防災訓練は、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、１１月１４日に実施予定です。

- ・都市公園を中心に、避難場所としての機能を持った公園・緑地の確保に努めました。

都市公園を中心に、避難場所としての機能を持った公園・緑地の維持に努めました。

令和３年度以降は、引き続き避難場所としての機能を持った公園・緑地の維持に努めます。

- ・雨水の有効利用を促進し、良好な水の循環の確保のため雨水利用タンクの設置を推進し、設置費用の一部を補助しました。

広報紙に年１回掲載し、PRしました。また、年間９件の補助金を交付しました。

令和３年度以降は、要綱失効時期（令和５年３月３１日）までに制度についての検討を行う予定です。

２．評価指標の進捗状況

指標番号	指標			現況値 (平成３０年度)	目標値	担当課
15	住宅用省エネルギー設備設置費補助金			109 件/年	150 件/年	環境課
	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	
実績値	115 件/年					
評価	↑					
備考						

評価について	★ 目標達成	↑ 目標に向けて進捗	→ 現状維持	↓ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標	現況値 (平成30年度)	目標値	担当課	
16	市施設（市の事務事業）におけるCO ₂ 排出量の削減（CO ₂ 排出量換算量）	33,023（t-CO ₂ ） (平成28年度)	29,723（t-CO ₂ ） (令和4年度)	環境課	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	48,963（t-CO ₂ ）				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
17	公共施設における省エネルギー設備等の設置件数		4件	推進	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	4件				
評価	→				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
18	土砂災害警戒区域に対する警戒避難マップ作成 地区数		5 地区	5 地区	危機管理課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	5 地区				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
19	防災訓練参加者数		17,505 人	25,000 人	危機管理課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	防災訓練中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止。				

指標 番号	指標	現況値 (平成30年度)	目標値	担当課	
20	避難場所としての機能を持った公園・緑地の確保	6ヶ所	維持	都市計画課	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	6ヶ所				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
21	雨水利用タンク補助金交付件数		6件/年	10件/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	9件/年				
評価	↑				
備考					

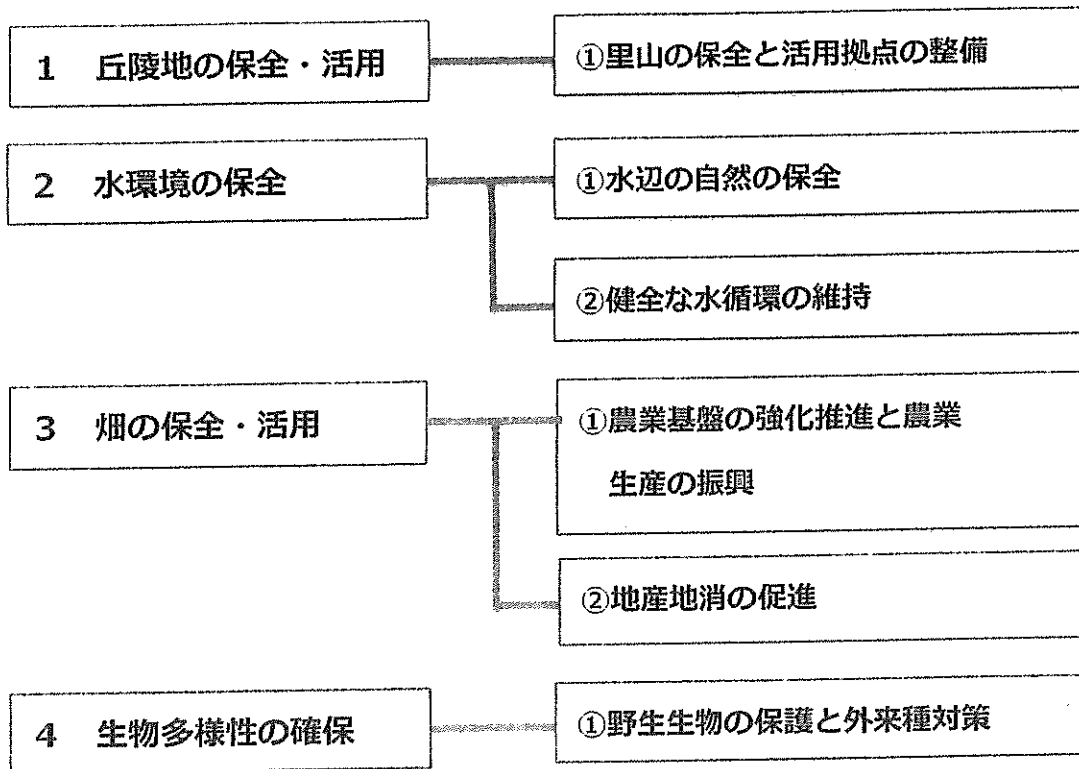
評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	＝ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本方針 1 の評価のまとめ

基本方針 1 の評価指標は 21 項目です。評価結果は、以下のとおりです。

☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
5	6	2	5	3

2-2 基本方針 2 豊かな自然環境の保全



基本施策 1 丘陵地の保全・活用

1. 令和 2 年度取組状況と令和 3 年度以降の予定

①里山の保全と活用拠点の整備

- ・(仮称) 加治丘陵さとやま自然公園の整備を推進するとともに、活用策について検討します。

令和 2 年度の(仮称) 加治丘陵さとやま自然公園用地取得面積は、1. 4 ha でした。

令和 3 年度以降は、毎年度 2. 2 ha 取得予定です。

- ・加治丘陵保全地の公有地化を推進します。

令和 2 年度の取得面積は 2. 8 ha で令和 2 年度末時点の公有地化面積は 1 2 2. 0 ha でした。

令和 3 年度以降は、各年度予算の範囲内での用地取得と積極的な寄附の受け入れを行う予定です。

-
- ・ボランティア団体などの市民と行政（市）との協働による維持管理体制の充実を図ります。

加治丘陵山林管理ボランティア団体、NPO 法人加治丘陵山林管理グループによる山林管理を実施しました。

市民公募の加治丘陵さとやま巡視員による丘陵内の巡視や美化活動を行いました。

令和３年度以降は、継続して市民ボランティア団体、NPO 法人による山林管理の実施を行う予定です。また、加治丘陵内の巡視や美化活動のため、引き続き加治丘陵さとやま巡視員の募集を行う予定です。

- ・加治丘陵の散策や自然観察などを楽しむことができるように、園地や遊歩道などの施設整備を計画的に行います。

【イベントについて】

加治丘陵の自然を観察するイベント（自然かんさつ会）を２回予定していましたが、感染症拡大防止のため中止としました。

令和３年度以降は、加治丘陵の自然を観察するイベント（自然かんさつ会）を２回実施予定です。

【施設整備について】

（仮称）加治丘陵さとやま自然公園の施設である「花見の丘」の整備を進めました。

植林工事（高木植栽３７本、中木植栽１６本、低木植栽９２株）を行いました。

令和３年度で（仮称）加治丘陵さとやま自然公園の施設である「花見の丘」が整備完了予定です。

- ・狭山丘陵については、さいたま緑の森博物館と連携・協力して、保全と活用を推進します。

さいたま緑の森博物館保全活用協議会へ参加（書面開催）しました。

さいたま緑の森博物館イベント情報の広報いるまへ掲載しました。

令和３年度以降もさいたま緑の森博物館保全活用協議会への参加、さいたま緑の森博物館イベント情報の広報いるまへの掲載を予定しています。

- ・狭山丘陵を取り巻く東京都および埼玉県の周辺自治体と連携し「狭山丘陵観光連携事業」を推進します。

連携団体の西武・狭山丘陵パートナーズ（都立狭山公園管理者）に入間市観光パンフレット等を送付しました。公園利用者へのPRを図りました。

瑞穂町のウォーキングイベント出展、入間市の農業まつり出展によって、瑞穂町とは例年交流を図っているが、新型コロナウイルス感染症のため開催中止となりました。

全体での会議、イベント開催はありませんでした。

令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症収束後、「狭山丘陵観光連携事業」（事務局：武蔵村山市）の継続について協議がなされる予定となっています。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
22	(仮称) 加治丘陵さとやま自然公園用地取得面積		59.4ha	83.6ha	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	62.28ha				
評価	↑				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
23	加治丘陵の公有地化の推進		115.1ha	推進	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	122.0ha				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
24	ボランティア団体などの市民と市との協働による維持管理体制		検討	推進	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	検討				
評価	→				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
25	加治丘陵の活用 イベントの開催		開催を検討	イベントの開催	農業振興課 商工観光課 都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	開催を検討				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
26	計画的な施設整備		5施設	推進	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	5施設				
評価	→				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
27	周辺自治体との連携による狭山丘陵の活用		イベント等の実施 他	推進	商工観光課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	イベント開催中 止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、事業中止。				

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	✖ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本施策2 水環境の保全

1. 令和2年度 of 取組状況と令和3年度以降の予定

① 水辺の自然の保全

- ・河川周辺に広がる優れた自然環境を河川と一帯として保全します。

水辺の野生動植物の生息・生育地の保全面積合計は、約1.5ha（現状維持：内訳「谷田の泉周辺保全地」13,282㎡、「ホタルの里」1,379㎡）でした。

令和3年度以降も水辺の野生動植物の生息・生育地の保全面積合計は、約1.5ha（現状維持：内訳「谷田の泉周辺保全地」13,282㎡、「ホタルの里」1,379㎡）の予定です。

- ・入間川・霞川・不老川では、定期的に水質調査を行います。

入間川、霞川、不老川、林川において、年4回（5月、8月、11月、2月）、河川水質調査を実施しました。

令和3年度も、同じ調査回数で実施する予定です。

表 入間川・霞川・不老川における測定地点と BOD (mg/L) 【年 4 回の平均】

入間川		霞川			不老川			
上橋	狹山市境	青梅市境	いるま野農協 果金子支店裏	万年橋	瑞穂町境	大森調整池 上流	上林川 合流点上流	狹山市境
1.0	0.7	0.7	1.8	1.0	1.3	2.5	1.0	1.7

- ・豊かな自然環境と調和した動植物が生息できる環境づくりを目指します。

河川管理者へ危険箇所、破損箇所の情報提供、それに伴う修繕要望等を行いました。

令和3年度も、河川管理者への各種情報提供を行う予定です。

②健全な水循環の維持

- ・河川に流れ込む雨水が、一時期に集中しないよう雨水貯留施設や雨水浸透施設の設置を推進しています。

不老川流域の雨水流出抑制をお願いする記事を、広報いるまに掲載しました。

令和3年度以降の予定も広報いるまに掲載しました。

- ・不老川流域への雨水浸透ます設置費用の一部を補助します。

不老川流域における雨水浸透ます設置費の補助を行っている記事を広報いるまに掲載しました。

令和3年度以降も同様に広報いるまに掲載する予定です。

- ・施設の緑化を推進し、雨水の地下への浸透を図ります。

関係各課に施設の緑化事業についての情報提供を行いました。

令和3年度以降も関係各課に施設の緑化事業についての情報提供を継続していく予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
28	野生動植物の生息・生育地の保全面積		1.5ha	現状維持	農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1.5ha				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
29	入間川、霞川、不老川の河川水質調査		4回/年	4回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	4回/年				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
30	多自然川づくり整備の推進		県への要望 1 回/ 年	県への要望 1 回/ 年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	県への要望 3 回 /年				
評価	☆				
備考					

評価について	△ 目標達成	↓ 目標に向けて進展	＝ 現状維持	↑ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
31	雨水浸透ますの累計補助件数		19 件 ※	2 件/年 ※	道路管理課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	0 件				
評価	↓				
備考					

※第三次入間市環境基本計画策定時と数値が変わっています。

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
32	浸透トレンチ管等の設置指導		開発、建築許可申請件数 57 件	開発許可等において設置を指導	開発建築課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	開発、建築許可申請件数 62 件				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
33	公共施設における緑化の推進		花壇、壁面及び屋上緑化の推進他	継続	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	継続				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

基本施策 3 畑の保全・活用

1. 令和 2 年度 of 取組状況と令和 3 年度以降の予定

① 農業基盤の強化推進と農業生産の振興

- ・農地の利用集積のための農地中間管理事業を実施します。

埼玉県農林公社、農業委員会と協力し、農地中間管理事業を進めました。

農業経営基盤強化促進法の利用権設定による農地の利用集積を推進しました。

令和 3 年度以降も埼玉県農林公社、農業委員会と協力し、農地中間管理事業を進め、農業経営基盤強化促進法の利用権設定による農地の利用集積を推進する予定です。

- ・農産物のブランド化、プロモーションなどの支援を通じて、農業生産の振興に取り組みます。

狭山茶 PR 用一煎パックの配布、婚姻届を出した方に急須プレゼント、庁舎茶園展示、入間市茶業協会による狭山茶パウダーの配布支援、入間茶研究会と茶業振興事業についての検討会議の開催、手もみ茶品評会受賞の横断幕、市報特集によるブランド振興、プロモーション、入間市 4H クラブによる「入間をいただきます」プロジェクト支援、ふれあい朝市の開催支援を行いました。

令和 3 年度以降も狭山茶 PR 用一煎パックの配布、新規で PR 用ティーバッグの作成・配布、婚姻届を出した方に急須プレゼント、庁舎茶園展示、狭山茶振興のための横断幕等を製作・設置のほか、茶業者団体とともにプロモーション事業への取組、入間市産農産物について市報等でプロモーション、「入間のうまい」消費推進事業を実施、ふれあい朝市の開催支援、研修支援を行う予定です。

② 地産地消の促進

- ・地場農産物の販売促進のための PR 活動を推進します。

狭山茶 PR 用一煎パックの配布、入間市 4H クラブによる「入間をいただきます」プロジェクト支援、ふれあい朝市の開催支援を行いました。また、体験ツアー「ふれあい朝市生産者を訪ねて」「狭山茶消費者交流イベント」、農業まつり、八十八夜新茶まつり、T-1 グランプリ事業は中止しました。

令和 3 年度以降は、狭山茶 PR 用一煎パックの配布、入間市産農産物について市報等

でプロモーション、「入間のうまい」消費推進事業の実施、ふれあい朝市の開催支援、体験ツアー「ふれあい朝市生産者を訪ねて」「狭山茶消費者交流イベント」の実施、農業まつり、八十八夜新茶まつり、T-1 グランプリ事業支援を行う予定です。

- ・生産者と消費者の交流を通じて、地産地消を促進します。

農産物の直売会「ふれあい朝市」は、一部中止しましたが、感染対策を行い開催しました。

令和3年度以降も農産物の直売会「ふれあい朝市」の開催支援を行う予定です。

- ・学校給食関係者と生産者の意見交換の実施、地場農産物を提供できる枠づくりなどを通じて、学校給食における地産地消に取り組みます。

地元で農業を営んでいる生産者グループと入間市茶業協会から納入された地場農産物を学校給食で使用することで、地産地消に取り組みました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業に伴い、給食提供月数が9か月となりましたが、そのうち7か月で地場農産物を使用することが出来ました。

令和3年度以降も地元で農業を営んでいる生産者グループと入間市茶業協会から納入された地場農産物を学校給食で使用することで、地産地消に取り組む予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
34	農地利用権設定の面積		58.1ha	90.0ha	農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	113.3ha				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
35	農産物の直売会実施回数		50回	55回	農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	39回(中止13回)				
評価	↓				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を一部中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
36	給食における地場農産物の使用月数		9カ月	9カ月	学校給食課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	7か月				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本施策4 生物多様性の確保

1. 令和2年度 of 取組状況と令和3年度以降の予定

① 野生生物の保護と外来種対策

- ・希少な生物や鳥獣の保護に努めるとともに、イベント等で保護について情報提供します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、自然展、いるま環境フェアは中止しました。

市内小学校でセアカゴケグモを発見した際、市ホームページ・チラシ等で周知・注意喚起を行いました。

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然展、いるま環境フェアは中止です。

- ・ 外来種による生態系に関する被害を防止するため、専門の団体等と協力した対策を実施するとともに、新たな外来種の情報は、広報いるま、市公式ホームページ等を通じ、市民に提供します。

【外来種対策】

- ・ アライグマ、ハクビシン等について

狭山猟友会へ外来種（アライグマ）出没情報の提供、現地確認を行いました。また、市民に箱わなを貸し出し、アライグマの捕獲を行いました。

県実施のアライグマ捕獲従事者養成研修会実施の広報誌掲載への検討を行いました。市 HP に「野生動物（アライグマ、ハクビシン等）にご注意ください」を掲載しております。

令和 3 年度も狭山猟友会と協力し、外来種（アライグマ）対策を行う予定です。

- ・ その他外来種について

入間漁業協同組合の行う外来魚被害対策事業へ補助金を交付しました。

外来種のオオキンケイギク等の情報について市報で周知しました。

令和 3 年度以降も入間漁業協同組合の行う外来魚被害対策事業へ補助金を交付し、外来種のオオキンケイギク等の情報について市報、ホームページで周知する予定です。また、その他、新たな外来種の情報があつた場合は必要な周知、対策を行う予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
37	イベント開催による情報提供		自然展、いるま環境フェアの開催	自然展、いるま環境フェアの開催	環境課 農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
38	外来種（アライグマ）の捕獲		捕獲数 59 頭/年	対策の推進	環境課 農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	捕獲数 48 頭/年				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
39	外来種（コクチバス）の捕獲		捕獲数 42 尾/年	対策の推進	農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	捕獲数 74 尾/年				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	1 目標に向けて進展	→ 現状維持	！ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本方針 2 の評価のまとめ

基本方針 2 の評価指標は 18 項目です。評価結果は、以下のとおりです。

☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
10	1	2	3	2

2-3 基本方針3 住みやすさが実感できる都市環境の構築

1 地域の緑の充実

①身近な緑の保全と創出

2 交通環境の整備

①公共交通の利便性の向上

3 歴史・文化を大切にした 景観の保全

①歴史、文化の継承

基本施策1 地域の緑の充実

1. 令和2年度取組状況と令和3年度以降の予定

①身近な緑の保全と創出

- ・住宅地での植樹や緑化の促進のため、苗木配布制度の継続と充実を図ります。

令和2年11月23日、農業まつりで苗木300本を配布する予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

令和3年度以降は農業まつりで300本の苗木を配布する予定です。

- ・地域に残る貴重な平地林を保全するため、保護樹林・市民の森・市民緑地等の保全制度の有効な活用を検討します。

借上型保護樹林から奨励型へと指定変更するため、契約更新時に地権者へ変更内容及び時期等の説明を行いました。

令和3年度以降は保護樹林・市民の森・市民緑地等の保全制度の有効な活用を推進していく予定です。

- ・重要な斜面林は特別緑地保全地区に指定するなど、より確実な保全を検討します。

【保護樹林や希少植物等について】

重要な斜面林である扇町屋の保護樹林や、二本木の段丘崖斜面林の希少植物の生育

状況について博物館や市民ボランティアと協力して確認しました。

令和 3 年度以降も引き続き博物館や市民ボランティアと協力して希少植物の生育状況を確認し、時機を見て土地所有者と相談し有効な保全策を検討していく予定です。

【斜面林について】

市内に残存する段丘崖斜面林の候補地について検討しました。

また、令和 3 年度以降も引き続き検討を行う予定です。

- ・ 接道部の生垣化の促進のため、設置費用の補助制度の情報提供を積極的に行うほか、制度内容の充実についても検討します。

生け垣化の促進のため、広報いるま及び市ホームページにて補助制度の情報を掲載しました。

令和 3 年度以降も接道部の生け垣化の促進のため、設置費用の補助制度の情報提供を積極的に行うほか、制度内容の充実についても検討する予定です。

- ・ 市街化区域内で公園が不足している区域に公園の整備を進めます。

南峯公園の公有地化、南沢公園整備を行いました。

令和 3 年度以降は、公園不足域に適正に配置されるような計画的な公園整備を推進する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
40	苗木の配布本数		300 本/年	300 本/年	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	0 本				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
41	保護樹林・市民の森の面積		5.4ha	現状維持	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	4.6ha				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
42	斜面林の保全の推進		維持保全を検討	維持保全を検討	農業振興課 都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	維持保全を検討				
評価	☆				
備考					

評価について	△ 目標達成	1 目標に向けて進展	→ 現状維持	1 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
43	生垣奨励補助による設置件数		40m/年	100m/年	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	13m/年				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
44	市街化区域面積に対する公園不足域の割合		約30%	約20% (令和10年度)	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	約30%				
評価	→				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本施策2 交通環境の整備

1. 令和2年度の取組状況と令和3年度以降の予定

①公共交通の利便性の向上

- ・環境負荷低減のため、自動車利用から公共交通への利用転換および公共交通の利用促進を図るための検討や環境負荷低減施策と公共交通利用促進施策が連携して実施する施策の検討を行います。

利用促進策として、例年、子ども達を対象に「バスの乗り方教室」を開催しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催することが出来ませんでした。

令和 3 年度以降も引き続き、利便性の高い公共交通を目指すため、利用促進策を検討する予定です。

- ・民間路線バスについては、既存路線の維持・確保を図ります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により便数が減少し、42 路線（往路 310 便、復路 310 便）となりました。

令和 3 年度以降も引き続き、バス事業者と連携し、既存路線バスの維持・確保を図る予定です。

- ・駅周辺における道路の安全確保のため、自転車駐車を整備し、放置自転車の解消を図ります。

公設自転車駐車場 13ヶ所で 7,138 台、民間自転車駐車場 11ヶ所で 1,010 台以上駐車可能な駐車を整備しました。

令和 3 年度以降も公設自転車駐車場 13ヶ所で 7,138 台、民間自転車駐車場 11ヶ所で 1,010 台以上駐車可能な駐車を整備する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成 30 年度)	目標値	担当課
45	コミュニティバスの利用者数		160,454 人	175,000 人	都市計画課
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実績値	126,722 人				
評価	※				
備考	令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業一部中止。				

評価について	☆ 目標達成	┃ 目標に向けて進展	→ 現状維持	┃ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
46	既存路線の維持・確保などについて事業者への働きかけ		働きかけを実施	定時運行の安全性の向上	都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	働きかけを実施				
評価	※				
備考	新型コロナウイルス感染拡大の影響により路線数が減少。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
47	駅周辺における自転車駐車場の整備		公設13ヶ所	現行駐車場の維持	交通防犯課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	公設13ヶ所				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

基本施策3 歴史・文化を大切にした景観の保全

1. 令和2年度 of 取組状況と令和3年度以降の予定

①歴史、文化の継承

- ・身近な文化財を活かし、郷土の魅力の再認識につながる事業を実施します。

文化財めぐりを1回開催（公民館との共催事業）、文化財関連講座を3回実施（出前講座等）、いるま歴史ガイドマップ【改訂版】を5,000部発行・配布をしました。※新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止となった事業があります。

令和3年度以降は、市民が身近な文化財を通して、自分が生活する地域の歴史・文化を学ぶことができるように、講座やフィールドワーク等の文化財保護事業を継続的

に実施していく予定です。

- ・旧石川組製糸西洋館、旧黒須銀行などの近代化遺産の保存、魅力ある活用事業に取り組みます。

旧石川組製糸西洋館は、年 30 日間一般公開を行いました。※新型コロナウイルス感染症の影響による休館があります。

また、旧石川組製糸西洋館の各種イベントは 3 件開催しました。

旧黒須銀行は、年 4 日間特別公開しました。※新型コロナウイルス感染症の影響による休館があります。

また、旧黒須銀行保存活用基本計画、旧黒須銀行復元改修工事基本設計の策定を行いました。

令和 3 年度以降は、旧石川組製糸西洋館については、引き続き一般公開や特色を生かした事業を実施していくことで、保存活用につなげていく予定です。また、旧黒須銀行については、建物の保存とその後の活用を図るための復元改修工事に向けた取り組みを行っていく予定です。

- ・指定文化財をはじめ、貴重な文化財の保存と活用に取り組みます。

新規指定文化財の指定を 1 件、指定文化財説明板の修繕を 2 基、市内文化財建造物の調査を 1 件、埋蔵文化財試掘調査の実施を 12 件行いました。

令和 3 年度以降は、貴重な文化財を指定文化財にすることで保護保存を図るとともに、市民に向けて周知を図っていきます。また、埋蔵文化財については、開発に先立ち試掘・発掘調査を実施することで適切に保護を図るとともに、報告書として刊行することで郷土の歴史・文化の発信を行っていく予定です。

- ・伝統文化活動団体の支援や協同による事業を実施します。

入間市文化協会から郷土芸能連合会に対して、155,800 円の助成金を交付しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた事業は実施できませんでした。

令和 3 年度以降も入間市文化協会から郷土芸能連合会に 155,800 円の助成金を交

付する予定です。

また、入間市芸能発表会（3月中旬）へ参加する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
48	文化財保護啓発事業への参加人数		200 人	250 人	博物館
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	95 人				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止の事業あり。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
49	旧石川組製糸西洋館、旧黒須銀行に来館者数		5,840 人	10,000 人	博物館
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1,610 人				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響ため、事業一部中止。				

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標			現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
50	埋蔵文化財の報告書刊行数			38冊	50冊	博物館
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
実績値	41冊					
評価	↑					
備考						

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
51	伝統文化活動団体の会員数		760人 (令和元年度)	760人	博物館
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	753人				
評価	↓				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部事業中止。				

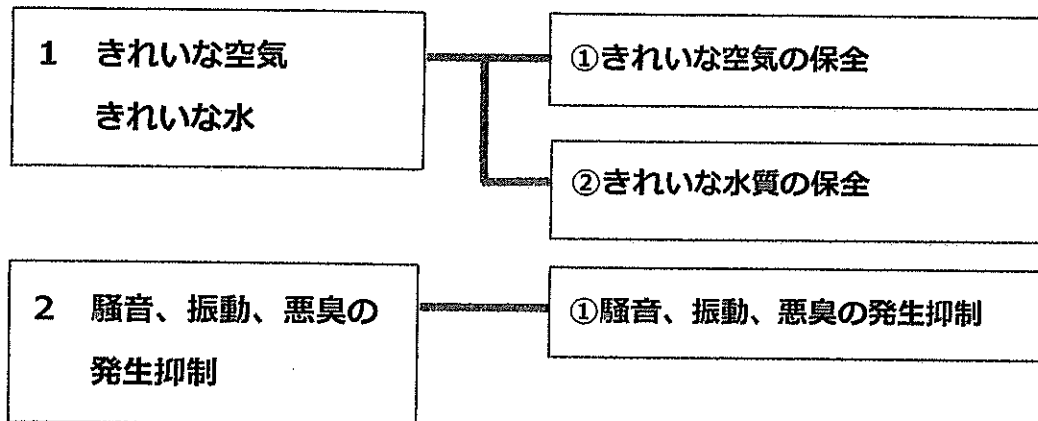
評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	⚡ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本方針3の評価のまとめ

基本方針3の評価指標は12項目です。評価結果は、以下のとおりです。

☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	⚡ 未着手
2	1	1	3	5

2-4 基本方針 4 安心して健康に暮らせる生活環境の保全



基本施策 1 きれいな空気、きれいな水

1. 令和 2 年度の取組状況と令和 3 年度以降の予定

①きれいな空気の保全

- ・自動車排気ガスの影響を把握するために、主要交差点自動車排ガス測定を行います。

11 月下旬、24 時間の自動車排ガス測定を、藤沢交差点、南峯交差点、上藤沢交差点、宮寺地内国道 16 号沿線の 4 地点で実施しました。

令和 3 年度も、4 地点で測定を実施する（4 地点のうち、2 地点については別の調査地点と交互に、隔年で実施、その他 2 地点は毎年実施）予定です。

- ・埼玉県条例で定められているアイドリングストップの周知を行います。

広報いるまに年 1 回、市 HP は通年で「アイドリング・ストップにご協力を」を掲載しました。

今後も広報紙、市 HP で周知を行う予定です。

②きれいな水質の保全

- ・市街化調整区域では、合併処理浄化槽の普及および補助制度の PR に取り組みます。

市街化区域内については、公共下水道への接続を指導します。

【浄化槽について】

広報いるま及び市公式ホームページに掲載、浄化槽清掃業者にチラシを配布し周知依頼を行いました。補助予定基数 22 基中 22 基すべての補助を行いました。

令和 3 年度以降も広報いるま及び市公式ホームページに掲載、浄化槽清掃業者にチラシを配布し周知依頼を行う予定です。また、回覧が可能になれば、対象地域への回覧を行う予定です。

【水洗化普及促進活動等について】

水洗化普及促進活動及び広報等での呼びかけにより、普及率の向上を図りました。令和 2 年度の実績値・進捗状況は 97.65%でした。

令和 3 年度以降は、今後継続した、水洗化普及促進活動及び広報等での呼びかけを実施し、普及率の向上を図っていく予定です。また、令和 3 年度については、水洗化普及促進活動を委託により実施し個別訪問を行う予定です。

- ・法令に基づく規制基準を順守するよう工場・事業者等へ立入検査・指導を行います。

下水未接続の河川に排水している事業所について、水質調査並びに指導を 6 事業所で実施しました。

令和 3 年度は別事業所も含む 5 事業所で実施する予定です。

- ・環境保全や浄化対策のため、水質調査を定期的に行います。

入間川、霞川、不老川、林川の本・支流において、年 4 回、24 地点で河川水質調査を実施しました。

令和 3 年度も、同じ回数、同じ調査地点で、継続して実施する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
52	主要交差点等における自動車排ガス調査実施地点数		4 地点	4 地点	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	4 地点				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
53	合併処理浄化槽の設置補助基数		総数 964 基	総数 1,000 基	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1,006 基				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
54	工場・事業所等への水質調査件数		9 件/年	9 件/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	6 件/年				
評価	↓				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
55	河川などの水質調査地点数		24 地点 4 回/年	24 地点 4 回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	24 地点 4 回/年				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	⊙ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本施策2 騒音、振動、悪臭の発生抑制

1. 令和2年度 of 取組状況と令和3年度以降の予定

① 騒音、振動、悪臭の発生抑制

- ・ 騒音、振動などの相談については、原因者への指導などにより改善を図ります。

騒音、振動、悪臭に関する相談について、現地調査を行い、原因者に相談内容を伝え、改善指導を行いました。受付件数は99件（内訳：騒音50件、振動4件、悪臭45件）で、うち94件は解消（改善）しました。

令和3年度も、継続して実施する予定です。

- ・ 畜舎等から発生する悪臭防止対策を推進します。

4団体に脱臭剤購入費用に対する助成を行いました。

令和3年度以降も4団体に脱臭剤購入費用に対する助成を行う予定です。

- ・ 交通量が多い主要道路の騒音等を調査します。

小谷田地内の一般国道16号及び299号において、道路交通騒音調査を3日間連続で実施しました。

調査地点は、7路線を5年周期で毎年実施する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
56	公害苦情（騒音、振動、悪臭）の受理件数に対する解決率		91%	100%	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	94%				
評価	↑				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
57	自動車交通騒音調査（面的評価）実施		1回/年	1回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1回/年				
評価	☆				
備考					

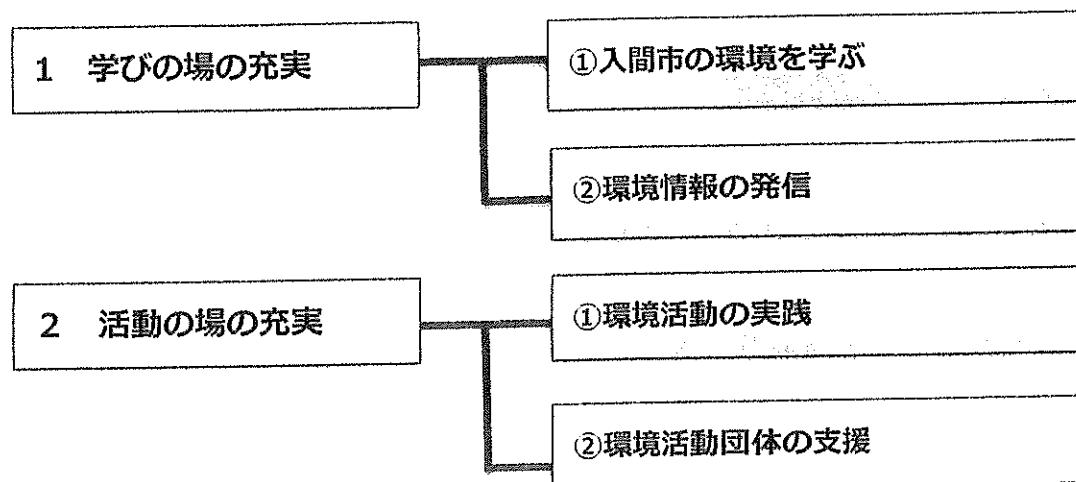
評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本方針4の評価のまとめ

基本方針4の評価指標は6項目です。評価結果は、以下のとおりです。

☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
4	1	0	1	0

2-5 基本方針5 環境学習の推進と環境活動の実践



基本施策1 学びの場の充実

1. 令和2年度取組状況と令和3年度以降の予定

①入間市の環境を学ぶ

- ・ いるま環境フェアを開催し、市民が「入間市の環境」を学ぶ機会を提供します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、いるま環境フェアは中止となりました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止です。

- ・ 「入間市の環境」、「地球環境」、「自然環境」、「生活環境」など多様な環境情報を発信する場となる環境市民講座や出前講座、イベントの開催、公民館事業など環境への意識を高める学習機会を充実します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、前年度より減少しましたが、環境市民講座を6回実施しました。また、派遣は3回（NPO 法人まちづくりサポートネット元気な入間、どろだんごの会、東藤沢生涯学習大学ときめき学園）行いました。

令和3年度以降も事業を継続していく予定です。

- ・ 農業まつりやふれあい朝市では、地場農産物の販売により、生産者と消費者の交流を図ります。

ふれあい朝市を 39 回開催しました。(予定回数は 52 回でしたが、感染症拡大防止や悪天候のため 13 回中止しました。)

令和 3 年度以降はふれあい朝市を 53 回実施する予定です。

- ・博学連携事業では、博物館と小中学校が連携し、「入間市の環境」に関する授業や事業を実施します。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、博物館授業での市内小中学校の利用が一括で中止となったことから、大幅な減となりました。

新型コロナウイルス感染症が現在も広まっている中で、令和 3 年度は感染症対策を講じつつ博物館授業を実施していきます。

②環境情報の発信

- ・ごみ分別アプリを活用し、ごみの出し方、分け方などの情報を発信します。

ごみ分別アプリ（ダウンロード数令和 3 年 3 月末 12, 951 件）を利用し、集積所にゴミを出すときの注意事項や、集積所に排出することができないもの、リサイクルプラザ等の体験教室やおもちゃ病院等、イベント等のお知らせ、施設の状況等を配信し、市民に対して情報発信をし、適正なごみの分別、ごみ減量や資源化、3R 等の啓発の推進ツールとして機能しています。

令和 3 年度以降は、ごみ分別アプリに加え、市 SNS を利用することで情報発信力を強化し、更なる市民への適正なごみの分別、ごみ減量や資源化、3R 等の啓発を行う予定です。

- ・区・自治会と連携し、ごみ減量推進地区説明会を開催します。

令和 2 年 7 月から令和 3 年 2 月までにの間下記の地区を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

豊岡地区（ハイラーク入間自治会・扇町屋団地第四住宅自治会・入間扇町屋第二住宅自治会）、東金子地区（第四区・第九区、第十三区）、金子地区（大字中神）、宮寺・二本木地区（坊・むさし藤沢台自治会）、西部地区（第 4 区）

令和 3 年度は令和 2 年度の同地区で、令和 3 年 7 月から令和 4 年 2 月の期間に開

催する予定です。

- ・広報いるま、市公式ホームページ、刊行物を活用した情報発信を行います。また、ケーブルテレビ、FM 放送、SNS を活用し、環境市民講座などの環境イベントの情報を広く発信します。

広報いるまに 2 回、市公式ホームページに 6 回、いるま生涯学習ガイドブックに 1 回、入間市生涯学習茶の都出前講座に 1 回掲載しました。

令和 3 年度以降も、事業を継続していく予定です。

- ・環境基本計画の進捗状況を、年度ごとに「環境報告書」に取りまとめ公表します。また、主に公害の状況をまとめた「入間市の環境調査概要」を作成し公表します。

「環境報告書」は R2 年 9 月に作成し、「入間市の環境調査概要」は R3 年 1 月に作成しました。

令和 3 年度も、同内容で作成し、公表する予定です。

- ・国の COOL CHOICE 運動に賛同し、意識の高揚を図ります。

COOL CHOICE について広報いるまに 2 回掲載しました。また、(株) エフエム茶臼、入間ケーブルテレビ(株) と共同で COOL CHOICE の啓発活動を実施しました。

令和 3 年度以降も事業を継続する予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
58	いるま環境フェアへの参加団体数		37 団体	50 団体	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
59	環境市民講座等の開催回数		8 回/年	12 回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	9 回/年				
評価	↑				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
60	農産物の直売会実施回数（再掲）		50 回/年	55 回/年	農業振興課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	39 回/年 (中止 13 回)				
評価	→				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業一部中止。				

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
61	博物館と学校の連携による環境学習への参加者数		6,283 人/年	5,500 人/年	博物館 学校教育課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	374 人/年				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業一部中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
62	ごみ分別アプリダウンロード数		7,000 件	10,000 件	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	12,951 件				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
63	ごみ減量推進モデル地区の設定と活動支援・PR		12 自治会/年	12 自治会/年	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	全て中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

評価について	△ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	☆ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
64	刊行物への環境情報の掲載数		2回/年	2回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	10回/年				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
65	入間市の環境調査概要の作成		1回/年	1回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1回/年				
評価	☆				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
66	COOL CHOICE 運動について、広報いるまへの掲載数		2回/年	2回/年	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	2回/年				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

基本施策 2 活動の場の充実

1. 令和 2 年度 of 取組状況と令和 3 年度以降の予定

①環境活動の実践

- ・自然かんさつ会では、雑木林、湿地、河川、市街地などの身近な自然の植物、魚、昆虫を観察し、見慣れた風景のなかで新しい発見をします。

自然かんさつ会を 1 回開催しました。(予定回数は 8 回でしたが、感染症拡大防止のため、7 回中止となりました。)

令和 3 年度以降は、自然かんさつ会を 9 回開催する予定です。

- ・リサイクルフェア、あおぞらマーケットでは、市民が参加し 3R の実践を行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、万燈まつりの中止に伴いリサイクルフェアは中止となりました。また、11 月第 2 日曜日に開催する予定であったあおぞらフリーマーケットも中止となりました。

令和 3 年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して行われる万燈まつり内にリサイクルフェアの会場となる場所が無いので開催はしない予定です。あおぞらフリーマーケットは 11 月第 1 日曜日に開催する予定です。

- ・区・自治会や子ども会などで行っている資源回収に対し、資源再利用奨励補助を行うことで、活動の支援をします。

家庭から出されるごみの中で資源として再利用できるもの(古紙や古布類)を回収した資源回収登録団体に対して補助金を 844 件交付しました。

令和 3 年度以降も引き続き、集団資源回収を行っている資源回収登録団体に対して補助金を交付する予定です。

- ・市民清掃デーの実施により、地域ぐるみの環境美化活動を推進します。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 6 月 7 日(日)の市民清掃デーを延期し、9 月 6 日(日)に実施しました。自治会毎に事前に参加、不参加を確認するなど例年と大幅に実施方法を変更しました。実施当日は雨だったこともあり参加自治会も全体の 4 割程度にとどまりました。

令和 3 年度は従来どおり 6 月の第 1 日曜日（6 月 6 日）に実施する予定です。

②環境活動団体の支援

- ・入間市環境まちづくり会議、入間市衛生自治会、河川浄化団体などの環境活動団体に補助金を交付し、活動を支援します。

5 団体（入間市環境まちづくり会議、入間市衛生自治会、霞川をきれいにする会、沢田地区をきれいにする会、入間市不老川をきれいにする会）に補助金を交付し、活動を支援しました。

令和 3 年度以降も継続して実施する予定です。

- ・加治丘陵が多くの市民にとって親しみやすい場となるよう、加治丘陵山林管理ボランティア等の活動を支援します。

加治丘陵山林管理ボランティア講習会を予定していましたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となりました。

令和 3 年度以降も加治丘陵山林管理ボランティア講習会を実施する予定です。

- ・緑のボランティア参加者が必要とする講習会やボランティア講座等の開催も検討します。

【自然かんさつ会について】

自然かんさつ会を 1 回行いました。また、その他の講習会や講座は開催しませんでした。

【緑のボランティアについて】

緑のボランティア参加者が必要とする講習会やボランティア講座等の開催を検討しました。

令和 3 年度以降は、緑のボランティア団体活動参加希望者に対する講習会等開催における参加意向等の情報収集を行う予定です。

2. 評価指標の進捗状況

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
67	緑に関するイベントの参加者数		671 人/年	700 人/年	農業振興課 都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	17 人/年				
評価	↓				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
68	フリーマーケットなどの開催回数		11 回/年	11 回/年	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	全て中止				
評価	※				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業中止。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
69	資源再利用団体の登録数		198 団体	260 団体	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	189 団体				
評価	↓				
備考					

評価について	○ 目標達成	△ 目標に向けて進展	→ 現状維持	！ 停滞	✖ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
70	資源再利用団体の回収量		2,235t/年	3,600t/年	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1,583t/年				
評価	↓				
備考					

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
71	市民清掃デーの参加世帯数の割合		自治会加入世帯 の78.9%	自治会加入世帯 の85%	総合クリーン センター
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	39.32%				
評価	↓				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法を変更。				

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
72	環境活動団体の活動支援		5団体	5団体	環境課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	5団体				
評価	☆				
備考					

評価について	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
--------	--------	-----------	--------	------	-------

指標 番号	指標		現況値 (平成30年度)	目標値	担当課
73	緑に関するボランティアの活動人数		458 人	500 人	農業振興課 都市計画課
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	378 人				
評価	↓				
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業中止。				

評価について	☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	✖ 未着手
--------	--------	------------	--------	------	-------

基本方針5の評価のまとめ

基本方針5の評価指標は16項目です。評価結果は、以下のとおりです。

☆ 目標達成	↑ 目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	✖ 未着手
5	1	1	5	4

2-6 第三次入間市環境基本計画の総合結果・評価

令和２年度の評価をまとめたものが、表１ 令和２年度の実施評価です。

表１ 令和２年度の実施評価

	☆ 目標達成	↑目標に向けて進展	→ 現状維持	↓ 停滞	※ 未着手
基本方針１	５	６	２	５	３
基本方針２	１０	１	２	３	２
基本方針３	２	１	１	３	５
基本方針４	４	１	０	１	０
基本方針５	５	１	１	５	４
合 計	２６	１０	６	１７	１４

令和２年度における実施施策 73 項目のうち、目標達成あるいは目標に向けて進展したものは 36 項目で、全体の約 49%となりました。また、現状維持のものは 6 項目で、全体の約 8%となりました。その他の停滞あるいは未着手のものは 31 項目で、全体の約 42%となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止あるいは延期になった事業も多く、停滞あるいは未着手の割合が高くなっています。